

市民のくらしを守る市政に

日本共産党 **伊藤りち子** 札幌市議会議員



12月議会で討論に立つ伊藤りち子市議

家庭ごみ有料化に反対

住民と一緒に減量推進を

伊藤りち子市議は、市議会や市政懇談会で、家庭ごみの有料化ではなく、市民との共同でごみをどうやって減らしていくのか、具体的な施策に取り組みることが大切だと訴えています。

三〇〇世帯近くの北郷のある地域では、ゴミステーションが四カ所しかありませんでした。二十一カ所まで増やしたことで一カ所四世帯から十六世帯になり、お互いの顔が見えるようになったため、分別やごみ出しのルールなども監視しあうのではなく、協力し合っただけで取り組めるようになったとの報告がありました。

伊藤市議も現地を視察して、ゴミステーションなど、市民が協力し合える支援を行政が行うべきだと指摘しています。



家庭ごみ有料化を考えるつどいで北郷地域 12月8日

行財政改革プラン

障がい者交通費助成見直し

市の計画で、障がい者の交通費助成が改悪の方向で検討されていることに對し、パブリックコメントなどに寄せられた障がい者の声をよく聞き「見直しは行うべきではない」と市長に要望しました。また、精神障がい者3級にも、心身障がい者と同様に、福祉ウイズカードを支給すること、ガソリン券とタクシー券の格差を是正するように求めました。

少子化対策のためにも

保育所への助成が必要

保育料値上げと、現在、保育所へ市有地を無償貸与しているものを有料にするという市に、少子化対策のため

多重債務

相談窓口の充実を

格差と貧困が広がる中、札幌市でも多重債務に苦しむ人が増えていきます。税金や保険料、保育料の滞納者に徴収を厳しくすることが行財政改革プランで強調されていますが、滞納の背景にある生活苦や多重債務などの問題を解決することが重要です。先進的に取り組んでいる自治体では相談窓口が設置され、安心して相談、解決することができます。札幌市でも多重債務の相談窓口を充実させるべきと質問しました。

にも、子育て世代や保育所への負担ともなる保育料値上げはせず、無償貸与を継続し、援助を続けるべきと求めています。



2008年1月号外



発行／日本共産党札幌市議会議員団事務局
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所内
☎011-211-3221 FAX011-218-5124
HP: <http://www.jcp-sapporo.jp/>
日本共産党札幌市議団と伊藤りち子議員の活動と見解を紹介します。